

献辞：佐藤洋教授退任記念号の刊行にあたって

佐藤教授は昭和58年7月にめでたく古稀の佳齡を迎えられ、昭和59年3月末には、定年により、本学を退任されることになりました。

先生は昭和11年に東京帝国大学経済学部を卒業され、東京府、農林省、満鉄調査部、日本繊維経済研究所調査部長などを歴任された後、昭和34年に桃山学院大学の講師、助教授を経て教授に就任され、爾来25年間本学において、経済政策、地域経済論、日本経済論を中心として幅広く経済学の諸分野において優れたご研究を重ねてられました。

先生は本学創設時から在職し、この間経済学部長、産業貿易研究所長、法人評議員、入試委員長、就職委員長、学部増設準備委員、財政計画委員などの要職を歴任し、25年間のながきにわたり、ひたすら桃山学院大学の発展に献身されました。そのご活躍のほどは末尾に掲げた先生の略歴と業績がつぶさに語っており、桃山学院大学の歴史において燦然たる光彩を放っております。

もとより、先生のご貢献はこのような研究活動や教育活動にとどまるものではありません。学内では初代の大学生協同組合理事長、学院常務理事、桃山学院百年史編纂委員長などを勤め、学外では経済政策学会理事、財団法人大阪問題総合研究所理事、大阪市政調査会会長、その他諸々の活動を行なってられました。

本学は、先生の長年にわたる研究・教育の功績に報いるため、「桃山学院大学名誉教授」の称号を贈り、また、本学部は、「経済経営論集」において「佐藤洋教授退任記念号」を刊行して、先生に捧呈することになりました。

先生におかれましては、ますますご健康に留意されまして、今後もしも

う学界の発展のためにご尽力下さいますと共に、後進に対して変わらぬご指導を賜わりますようお願いいたす次第でございます。

昭和58年12月

経済学部長 林 錫 璋